

われら励まん

作詞・作曲 長崎 熙

一

見^みよ 安曇野^{あづみの}の 背戸^{せと}高く
巖^{げん}然^{ぜん}たる やアルプスの
雄姿^{ゆうし}を 仰^{あお}ぐ われらこそ
強^{つよ}き 意志^{いし}も て 励^{はげ}み 合^あわん

二

朝^{あさ}な 夕^{ゆう}なに 白妙^{しろたえ}の
高嶺^{たかね} 嵐^{おろし}に 耐^たえ 抜^ぬきて
常盤^{とぎわ}の 松^{まつ}の 緑^{みどり} 映^はゆ
われらが 操^{みさお}かくぞもたん

三

高瀬^{たかせ}の 川^{がわ}の 水清^{みずきよ}く
とわに 流^{なが}るる 詩^{うた}によせ
調^{しら}べ 妙^たえなる 柏^{かしわ}葉^はは
校章^{しやう}ぞ われら 馨^{かおり}そえん

四

自由^{じゆう}の 園^{その}の 香^かをはらみ
息吹^{いぶき} われをはぐくみて
あゝ 夢^{ゆめ}つゝ むまなびやに
わがともがらよ 睦^{むつ}みゆかん